

経営比較分析表（令和6年度決算）

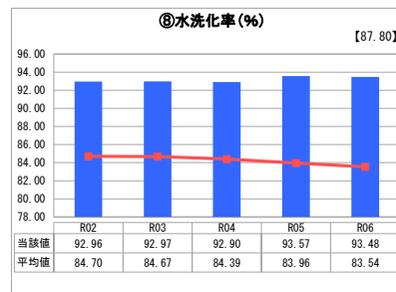
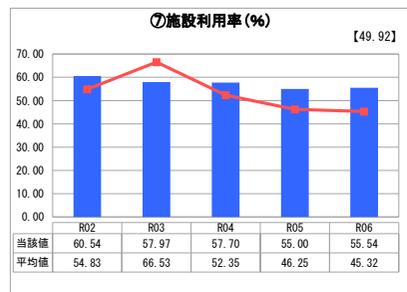
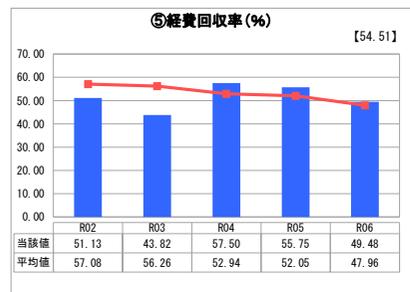
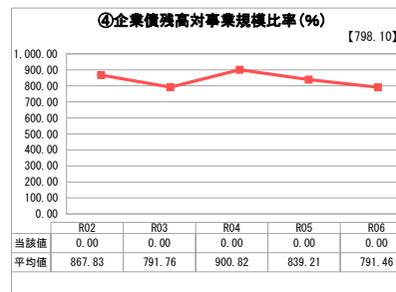
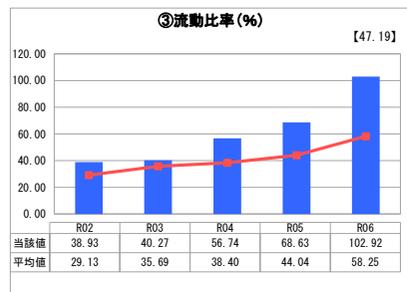
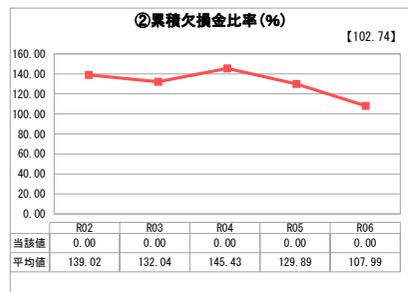
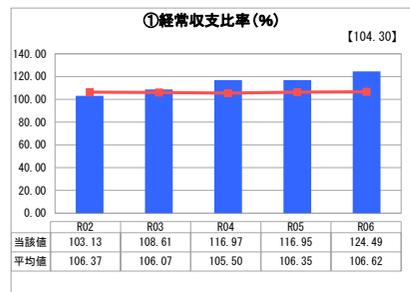
埼玉県 小川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.21	5.17	87.44	3,195

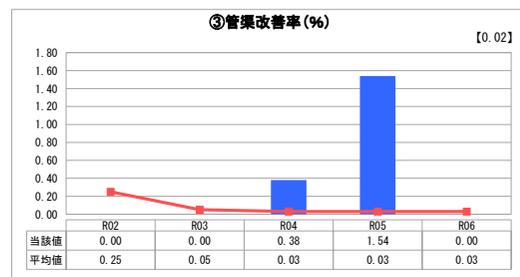
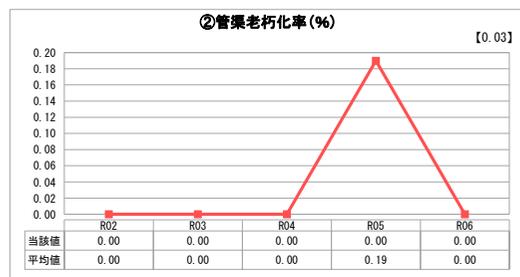
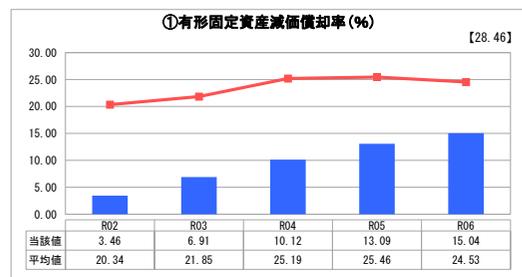
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,448	60.36	454.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,412	3.02	467.55

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%は上回っているものの、実態は一般会計からの基準外繰入金に頼った経営となっている。

②累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。

③流動比率
年々改善傾向にあり、100%を超えている状況である。今後も将来の企業債償還に対応できるよう現金等の確保に努める。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高のうち、全額を一般会計が負担するという数値となったため、当該値は0となった。

⑤経費回収率
類似団体平均は上回っているものの、100%を大きく下回っており、経費を使用料で賄っていない状況である。令和8年度に実施する使用料改定により数値は改善される見込み。

⑥汚水処理原価
類似団体平均を下回っているものの、物価や人件費の高騰もあり増加傾向となっている。令和7年度には、経費削減を見込み、処理場を3施設から2施設に統合した。

⑦施設利用率
類似団体平均を上回っているが、年々減少傾向にある。令和7年度に実施した処理場統合により利用率は改善される見込み。

⑧水洗化率
類似団体平均を上回っているが、水質保全の観点からも継続して水洗化向上の取り組みを行っていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
処理施設整備の開始時期が比較的遅かったことから、比率は低くなっている。

②管渠老朽化率
まだ法定耐用年数を超えた管渠はない。

③管渠改善率
更新時期を迎えた管渠がないため、更新に対する投資は行っていない。

全体総括

公営企業会計への移行に伴い、独立採算制が求められている中で、今後も人口減少等により使用料収入の減少が予想されるなど経営状態は非常に厳しく、一般会計からの基準外繰入金に依存せざるを得ない状況である。

このような状況を改善し将来にわたり安定した下水道事業の運営を実現するため、令和7年度には処理場の統合を行い、維持管理・修繕の費用を削減するとともに、令和8年度には使用料改定を行い使用料収入の増加を図る予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。